



なん で や ね ん

発行責任者 倉橋 忠



No.16

課題作文「原始時代と現代の暮らし」の採点基準と「代表作品」

1学期中間試験の課題作文は、「原始社会（石器時代）の人々の暮らしを学んで、現代の私たちの暮らしをあなたはどのように考えますか。具体的な事実にもとづいて、自分の考えたことを説明（作文）しなさい。」でした。

採点基準は次の通りです。自分の「作文」を自己評価する際に利用してください。

【採点基準】 10点満点。

次の各論点につき2点を加点する。採点は加点法をとり、誤字脱字は減対象としない。ただし、論理矛盾については、－2点とする。複数の文章の記述内容が、相互に矛盾している場合は、1つの文章のみを加点する。

- ① 主な道具が石器しかなかった時代の祖先が、様々な工夫を重ね、自然環境の厳しさと闘い、生きのびたから自分の生命があるなど、私たちの生命や存在そのものが歴史的存在であることを筋道を立てて具体的に説明している。
- ② 石器を体験したことをふまえて、石器を製作することの難しさや利用する際の難しさなどについてふれて、石器時代の人々の暮らしが苦労と工夫の連続であったことを、筋道を立てて具体的に説明している。
- ③ グループ学習で学んだ際のテーマと友達の意見を紹介し、自分の意見との違いを明確にした上で、自分の意見を具体的な例をあげて根拠を示し、筋道を立てて説明している。
- ④ 文字のなかった石器時代の技術変化はゆっくりで、道具の改良に何万年もの長い時代がかかったことに対して、文字の発明により技術の高度化と文化の急速な変化がもたらされたことにふれて、今日の自分たちの社会や生活の豊かさが、文字や情報技術の歴史的な発展に支えられていることを、筋道を立てて具体的に説明している。
- ⑤ 今日の私たちが食べている穀物や野菜などは人類の数百万年の歴史の中で発見されたり、改良されてきたことにふれ、自分たちの暮らしが人類の過酷な歴史によって築かれてきたことを、筋道を立てて具体的に説明している。
- ⑥ ①～⑤以外のことであっても、人類の歴史(石器時代)について学んだことと、今日の社会や自分の暮らしの具体的な事実とを対比して、歴史的な関連性について筋道を立てて具体的に説明することができていれば、加点する。
- ⑦ 満点を10点とするので、5つを超える論点の記述があっても、10点を超えて加点しない。

友だちの作品から学ぼう

次に、10満点中、7点以上の評価をした「答案」を紹介します。ただし、7点以上の作文の全員分ではありません。7点以上で紹介できなかった人には申し訳ないです。ページ数をあまり増やしたくないからです。ごめんなさい。

作文内容は、それぞれが個性的です。書いた人の人柄が表れているのだと思います。文章を書いた人がどのような根拠を示し、自分の考えを説明しているかを読んでください。きっと、「課題作文」を書くための参考になるはずです。

紹介順は、作文の中心テーマ別に並べ、学級名は伏せたうえで、学級順にもしてませんでした。個人を特定したがる人が多いので、イニシャルだけにしました。

なお、漢字の誤りや脱字は修正していません。「答案」のままを再現しています。「答案」の下(※寸評:)の中の文は、私(倉橋)のコメントです。

1 【自然環境との共存を中心に書いた答案】

A.K.さん 私は原始社会の人々の暮らしと現代の私達の生活を比べたら「自然と共存して生きていない」と思いました。原始社会の人々は生態系の中の1部として、食物連鎖の1部として暮らしていました。ところが、今の人々は自然と共存できていないどころか、「自然を支配しようとしている」といえます。川の供水をダムで止めようとし、植物・動物が自然に生きているあらゆる森林などを高層ビルに変え、それでいて住む場所のなくなった動物を追いかう。(そして、自然からのその何倍にもなった仕返し苦しむ、。。)自然を人間なんかが支配できるはずがないのに、いつも自分達中心で動いている。だから私は原始社会で必要な分だけ食料をとり、必死に生きる昔の人々を見慣らうべき、見つめるべきだと考えました。

現代は「自然を支配しようとしている」暮らしだと感じました。

(※寸評:とてもすどい指摘です。A.K.さんの指摘するとおり、原始時代の人々の暮らしは、文字通り自然界の一部でした。しかし、現代の暮らしは人間だけが地球上の住人であるかのような振る舞いをしています。他の動物にとってはとても迷惑なことだと思います。絶滅危惧種の生き物を生みだしている原因は、人間が自分たちの豊かさだけを追求している結果だと言えるでしょう。ただ、どのようにすればこの問題を解決できるのかは、とても大きな課題です。ぜひ、今後考えてください)

2 【社会生活のあり方を中心に書いた答案】

I.T.君 石器時代のような、昔の人々は、食物を自分たちの手で作り、土器なども自分の手で作ります。本当に何から何まで自分たちの手で作ります。とても大変だなと思いました。なぜなら現代は、スーパーに行けば食材はすべて売っているし、調理するための、鍋やフライパンも売っています。昔の生活に比べたら、

本当に楽だと思いました。それに、ぼくたちは学校で勉強することができます。ですが、石器時代の子どもたちは、勉強する以前に、学校がありません。子どもたちは1日中働きます。そんなに、生きていくための食料を確保するために大変なことをしていたんだなと思いました。とても、今の生活が出来ることに感謝しました。

ぼくは、この学習で、どんなことをしても、生きのびようと、祖先の人々ががんばったおかげで、こうして、楽に生きているんだなと実感しました。

(※寸評:祖先の人々が生きのびるために、具体的にどのようなことをしたのかを説明するともう少し説得力のある作文になりました。ただ、I.T.君の指摘するとおり、同じ世代の子どもの暮らしに目を向けると、学校ではなく日常生活の中で生きる術を原始時代の子どもたちは学んだんですね。学校がなかったんですから。きっと親や近くの大人から学んだのでしょう。他の人が気づかない点を論点に取り上げたことは評価されます。)

M.T.さん 原始時代の人々の暮らしを学んで、私は「今の暮らしは便利すぎる」と思います。便利なのは良いけれど、「便利すぎる」のは逆にだめだと思います。生活していく上で、原始時代とは全く違う面がたくさんあります。食料を得るにしても、今は車でスーパーへ行き、スーパーには食料がなんでもそろっている。それが普通です。ですが、原始時代はどうでしょうか？動物が食べたければ山へ、魚が食べたかったら海へ、自分の足で時間をかけて行き、そして動物や魚をたくさんの人が協力してつかまえる。これが原始時代の「普通」なのです。動物一体、魚一匹をつかまえるために、どれだけの時間と労力、そして知恵が必要なのか、私達には分かることがないと思います。私達は、現代の「普通」に慣れてしまっています。現代の普通に慣れてしまうと、自然と自分の命を守る力というものが無くなってしまいます。これでは、地震などの災害が起きた時、私達は何もできないまま死んでしまったり、悪い方向へ進んだりしてしまうと思います。だから、私達は便利な、現代の生活から少し無理してみるのも良いのではないのでしょうか。それが、自分の命を守る力をつける第一歩と思うからです。

(※寸評:そうですね。便利さはこわいですね。たしかに、現代社会はあらゆる産業が相互に支え合ってとても便利になりました。けれども、そのことを支えている仕組みの中で働いている人々に目を向けると、食材を生産する人、食材を保存して消費者の手元に運んでくれる人など様々な人の労働で成り立っています。原始時代では想像もつかないくらい人々のつながりが複雑になっているのです。そんなことに少しでも触れることが出来ていれば、この作文はもっと良くなりました。)

M.I.さん 原始社会の暮らしに比べ、現代の暮らしは、とても便利が高いと思います。例えば、原始社会では、食事をするのに、まず、武器を作り、それを持ってみんなで命がけで狩猟をしなければならませんでした。しかし、現代の私達

は、武器を持たなくとも、スーパーへ行くだけで食料が手に入るのです。

また、もし食料があまれば冷そう庫で蓄える事だってできるのです。そんな風に便利が大いに増したこの現代で注意すべき事があります。それは、「こんな事当たり前」という心を持ってしまうという事です。蓄える事が可能になった現代には、当たら前に食料が確保できない人もいう事です。日本の中ではそのような貧富の差があまり目立たないのですが、世界に目を向けると、貧富の差がとても大きい事に気づきます。科学技術の進歩で、資本主義と言える現代になった今、原始社会にあった「利益を分け与え、利益に感謝する心」を忘れず、暮らしていきたいです。

(※寸評:そうですね。現代はとても便利で、それが進化した機械や多くの技術で支えられていることをきちんと説明できています。ただ、この作文の後半部分には、少し論理的に苦しい展開があります。食料の保存技術から貧富の差を説明することは現代社会の説明としては無理があります。それは保存や流通だけの問題ではないからです。また、科学技術の進歩と資本主義になったとする説明にも飛躍ひやくがあります。この資本主義に関する記述きじゆつ はふ しほを省いて、貧困問題だけに焦点を絞って書くともっと良い作文になったと思います。)

3 【衣食住を中心に書いた答案】

S.Y.さん 現代の私達の暮らしは、原始時代に比べて、安全で便利な生活を送っていると思う。理由を衣、食、住の3つに分けて説明する。まずは、衣。今は、お店で買ってそれを着ている。でも昔は、イノシシの毛皮をはぎ、それを自分のサイズに合うように作る。次に食。食べたいものがあれば、今は買ったらすぐに食べられる。だけど昔は食べたいものがあれば狩りや採集に出かけ、そして食べられる。狩りは命を失う危険もあるのに、それを乗りこえ狩ってくる。最後に住。今は定住化が進んでいる。だから、野性動物におそわれることは少ない。だけど昔は、移動住居だったので、どこが安全かも分からないまま住んでいた。つまり、野性動物におそわれるリスクだってあったと思う。これら3つのことから、昔の人は、危険で毎日苦勞する生活があったと考えられる。だから、今は、ものすごく便利で安全な生活が送れていると思う。また、ここまで、便利で安全な生活を送れるようにしてくれた先祖に感謝したい。

(※寸評:この作文は、原始時代の衣食住について、とてもリアルに説明しています。特に、「狩りは命を失う危険もある」と記述きじゆつしている点は、とても鋭い指摘で説得力せつとくりよくがあります。ただ、現代の生活についての説明が雑になっているのが残念です。定住化すると野生動物に襲われないですか？ 野生動物を追いついて人間が自然環境を独占したのではありませんか？ この点はもう少し考えても良いと思いますよ。)

Y.N.さん 私たちのくらしは、原始社会の人とちがって、生きていくために必要なものがそろっているということです。原始社会の人たちは自分たちで食料を集め、見つけ、毒などが入っているかもしれないのに食べたり、すごく危険だなと思いました。スーパーなどに行くと、肉なども全てがそろっていて、原始社会の人とくらべると楽をしているなと思いました。住む所も原始社会の人たちは自

分でたてて、工夫して作り、フカフカなベッドとかもなく、原始社会の人は、よく考えてすごいなと思いました。私たちが生きるための物があり、快適にすごすために機械があるのは、原始社会の人たちから始まり、たくさんの人が発見していったからこそある物だなと改めて実感することができました。知識がたくさんあるから、今の人は新しいものをつくりだすことはできると昔の人は本当に努力して四苦八苦しながらも生きていたと思うと尊敬する人だ！と思うことができました。動物をみるだけではなく、ラクダなどに荷物をのせるなどおもしろい発見もしているなと思いました。

(※寸評:原始時代の不自由で厳しい暮らしを具体的に説明できています。しかしながら、「毒などが入っているかもしれない」という表現は少し舌足らずで残念です。今日の私たちが食べている物の安全性が、長い人間の歴史の中で発見されてきたことを表現したいのはよく分かりますけどね。ただ、現代の「知識」は原始時代から積み重ねられてきたものだと言うことを忘れないでください。)

4 【衣服を中心に書いた答案】

Y.F.さん 私は「衣食住」の「衣」を中心として考えました。石器時代の衣服は動物の皮で出来ていました。皮をとるために知恵をふりしぼって、生み出されたのが打製石器です。しかし、それを作るのにもまた、相当な技術がいります。とれた皮は自然界の物を使って仕上げなければなりません。このことから、石器時代に衣服を作るには、知恵、技術、労力が必要になることを学びました。

一方、現代の衣服の多くは化学繊維で出来ています。そのため、機械を準備し、原料を集めてしまえばあまり労力を使わずに衣服を作ることができます。

現代の私たちの暮らしは石器時代の暮らしより進化したものの、生きるために必要なことのひとつとして、衣服を使っているという基本的なことは変わっていないのだなと思いました。

(※寸評:衣服だけでじょうずに原始時代と現代の暮らしを比較できている作文です。打製石器の使い方も説明できています。ただ、現代の石油化学工業についての説明が雑になっている点が惜しいですね。この点は、地理的分野で学びます。その時に社会的な仕組みがどのように石油化学工業を支えているのかを考えてください。さらに、石油化学工業の原理と技術は理科で学びます。そのように歴史を理解するためには、理科や他の教科の知識が必要になります。作文を書く時には、できるだけ広い視野で考えましょう。)

5 【住環境を中心に書いた答案】

A.B.君 毎日、狩りや採集に行かなければならないが、僕たちはスーパーに行ってお金があれば、手にすることができる。住む所も、石器時代の人々は、洞くつや簡単な小屋、大きな木の下で暮らしていただろう。僕たちの家は雨がふっても、風がふいても、壊れることはない。しかし、石器時代の人々は、雨がふったり、風がふいたりすると壊れることもある。

最後に、道具のことは石器時代の人々はナイフなどを自分たちで一からつくる知恵を持っていたにちがいない。このようなことから、石器時代の人々は、知恵をしぼり、長い年月を経て、僕たちの時代まで伝わっていると僕は思う。だから、石器時代の人たちが苦勞してがんばっていなかったら、今の時代は存在していないと思った。だから石器時代の人たちには感謝をしなければならない。だから今の時代の人たちも、石器時代の人々のように、感謝されてがんばって生きていかなければならない。僕も感謝されるように、先の時代の人々のためにも何か残していかなければならないと思いました。

(※寸評:住居に注目して原始時代と現代の暮らしをうまく比較できています。特に「雨がふっても、風がふいても、壊れることはない」と具体的に表している所は、よく考えていることが分かります。ただ、石器作りからどのように知恵が発展したのかについての説明がないのが残念です。今日の知恵は、原始時代から引き継いで発展したものです。もう少し、そこを掘り下げて欲しかったですね。)

6 【食べ物を中心に書いた答案】

Y.O.さん 私は、昔と今の食べ物の手に入れ方について考えました。石器時代では、自分たちの食べ物は自分たちで手に入れていました。マンモスなどを狩ったり、魚をつったり、様々な方法で手に入れていました。狩りやつりをするための道具も自分たちで1から作っていました。

きっと、全く食べ物が手に入らない時もあったと思います。大きなえ物を狩るときは、とても大変で、死者も出ることがあったと思います。石器時代の人々は、食べ物1つ手に入れるのも命がけだったと思います。

しかし、今、私たちは、とても簡単に食べ物を手に入れることができます。近くにスーパーやコンビニがたくさんあり、いつでもどこでも食事をすることができます。レストランもたくさんあります。冷蔵庫で食べ物を保存することもできます。とても便利な時代になったと思います。ただ、とても簡単に食べ物が手に入るので、今の私たちは食材や作ってくれた人への感謝が足りないと思います。昔の人は、手に入れるのが大変だった分、食材や作ってくれた人への感謝もちゃんとしていると思います。昔の人を見習うべきだと思いました。

(※寸評:食べ物のことで原始時代と現代の暮らしを見事に比較できています。特に、原始時代の説明に「大きなえ物を狩るときは、たいへんで、死者も出ることがあった」としている点は、とてもリアルな表現で説得力があります。その表現が、現代生活の「スーパーやコンビニで」簡単に食材が手に入る様子とのコントラストを明瞭にさせています。ただ、なぜ原始時代の人々に感謝するのか、現代の暮らしの連続性について触れていないことが惜しい点です。原始時代と現代の連続性がないと感謝する理由がないからです。)

M.Y.さん 原始社会の人々の暮らしと現代の私たちの暮らしを比べて、私は「衣・食・住」に注目しました。特に注目したのは「食」についてです。昔は狩った動

物の生肉を焼くだけ、というざんしんな調理法でした。しかし、現代では食べ物売り出されるまでにも様々な調理をし、その後、家庭でも調理を重ねます。衛生面でもだいぶ変わってきます。ですから、私は昔に比べてヒトが長寿である理由の一つに「調理法」が関わっているのではないかと考えました。しかし、それと同時に環境について気になりました。現代の私達への課題は「ゴミを減らすこと」ですが、原始社会の人々は狩った動物の毛皮を衣服などに利用したりと、ゴミ(不要なもの)を出すことはあまりありません。暮らしが発達するにつれ、何万年も前の人々ができていたようなことを現代の私達が出来ていないと思うと複雑な心況になりました。

(※寸評:この作文は、食の話題からゴミ問題に発展させて、現代生活の問題点を^{するど}鋭く指摘しています。調理法が現代の長寿につながっているという指摘も良いと思います。ただ、原始時代の「食」についての記述が弱く、調理法だけに注目している点は、後半の「ゴミ問題」に直接の関係性がないので説得^{せつとくりよく}力^かに欠けます。なお、文末の「心況」は「心^{ぶんまつ}境^{しんきょう}」の誤りです。)

M.N.さん 私が原始社会と現代社会で大きく変化したのは食べ物だと思います。例えば、昔は今とちがい食べ物の種類は少なく人々は生きるために食事をしていました。しかし今はポテトチップスなどのおかし、プリンなどのスイーツと様々な食べ物が増え、食べるという行為を楽しむためのものだと考える人も増えてきました。なのでレストランのように食事を楽しむための場所ができたのだと思います。また、昔は食べ物を保存する方法も干したり、発酵させたりしかなかったけれど、今は冷凍したり、薬品を使って長期保存ができていたりしています。しかし食生活が豊かになった反面、糖分や油分の摂りすぎで病気になってしまう人が増えていることも問題になっています。原始社会の人々は食べ物こんな問題をかかえるようになるなんて思っていなかったと思います。

(※寸評:この作文が、現代の暮らしが「食べる行為を楽しむ」と指摘する点^{してき}はとても鋭い視点^{するど}だと思えます。さらに、食べ物の保存方法に注目して、原始時代と現代を比較することで両者の違いを明確にしています。今日の暮らしの問題点を原始時代と比較することで明らかにした作文だと言えるでしょう。とても説得^{てん}力^{せつとくりよく}があります。)

S.K.君 石器時代は、石器を作るのに時間も体力も必要で、狩りなども、ぼくが想像するより、大変だと思います。狩りでも、けがしたり、大きな生き物に殺されるかもしれないという命がけな戦いだったと思います。けがをしてももちろん医師はいないし、生きるためにとっても苦労したと思います。

だけど、そんな石器時代とかわって、現代の私の暮らしは、食べ物は、狩りなどせず、コンビニやスーパーなどで買えます。もちろん魚などは、漁師さんがとるけど、あみや船などがあり、狩りよりか楽だと思います。そして、食べ物を買うために、お金が必要です。お金は、働いてもらいます。これも、命がけの狩りよりか楽な仕事が多いと思います。このように、ぼくは原始社会より

現代はとても、便利で楽になったと思います。ここまで便利と楽になったのは、人類の知恵のおかげだと思います。このことに感謝して、現代に生きて、よりよくしたいです。

(※寸評:この作文は、石器時代の命がけの狩りを取り上げ、現代の安全な食材確保を説明することで時代の比較を上手くしています。ただ、現代の暮らしについての記述が弱いのが惜しいです。「お金をもらう」ことは、現代でも楽ではないのです。様々な職域や職場環境があることに目を向けると、「事故死」や「労働災害」あるいは「過労死」など過酷な現状があります。全く触れていないのが残念です。)

7 【道具と暮らしを中心に書いた答案】

A.K.さん 石器時代に使われていた道具として、打製石器が挙げられると思います。

打製石器は、今から200万年ほど前に作られ、狩りや身を守るのに、つかわれてきました。そして、今から1万年ほど前は、石を加工し、磨製石器も作られ、木を切ったり、加工するのに使用されました。この間、数字だけで考えると、119万年ほどの時間があります。私は、どうして、こんなに長い時間をかけて、やっとのところで、少し加工されただけの石しかできないのか」と思いました。石を加工するのに、何百万年も時間をかけるのは馬鹿げていると思ったのです。しかし、調べてみると、この時代には今のよう、80歳、90歳まで、生きる人なんていませんでした。ただでさえ、こどもが産まれるのも難しい(医者が設備されていない)時代に、30歳くらいまで、生きていれば、上とうだと思います。なので、短い寿命の中で、生きて子孫を残すのも、精一杯なのに石を加工し、それを代々に伝えていく」。これがどれほど時間のかかる作業かは、考えるまでもないことです。

私は、「石を加工するのに・・・」なんて考えていましたが、石器時代の人々は、「石を加工するのに」命がけレベルで取り組んでいたのだと思います。これは現代を生きる私たちも考えるべきなことだと思います。今私たちは、日常を大切に「命がけ」で生きているのでしょうか？ 私は、時間さえも大切にできていないと思います。そして、私以外にも、時間を大切にできていない人は、たくさんいると思います。だから私は、歴史から、原子社会から、日常を「命がけ」で生きることを学びたいと思います。

(※寸評:この作文は、原始時代の人々の寿命に注目して、石器の加工技術の進化が遅かったことを説明しています。この点は素晴らしい指摘だと思います。しかし、「石を加工するのに、何百万年も時間をかけるのは馬鹿げている」という表現があります。この表現には大きな誤解か、表現の誤りがあります。と言うのは、石器を作るのに何万年もかけることはありえないからです。たとえば、「何百万年も石器以上の道具を作り出せなかった」とすべきだったでしょう。それと「原子社会」ではなく「原始社会」ですね。)

H.W.さん 私は、原始社会に比べて、今の私達は楽ばかりしているなと考えています。

原始社会では、自分達の手で打製石器・磨製石器を必死に作り上げたのに対して、私達は、例えばスマートスピーカーでは自分は動かずにテレビを付けたり、電気を消したりと機械に頼っています。このように考えると、原始社会に比べて、今の私達は楽をしているなど感じます。しかし、その一方で、共通している所にも気が付きました。それは、どちらも人のためにより良い物になるようにと努力をしているという事です。原始時代では、大きな動物が獲りやすいようにと特定の場所にしかない石を使ってまで鋭い刃物にしています。新石器時代になると、それまでと環境が異なりますが、木を切ったり加工したりを自分達がしやすくするために磨製石器を作るなどより良い物へと努力しています。今も、私達が少しでも効率的に生活できるようにと研究者の方々は必死に努力してスマートスピーカーをうみだしたのではないかと思います。そう考えると、長い歴史によって生活・文化などは大きく異なりますが、人を思う優しい気持ちは変わらず、ずっと続いてきたのだと思います。

(※寸評:この作文は、打製石器と磨製石器の用途の^{よう}と^{ちが}いを例にして、原始時代にも進化があったことを説明しています。そして、現代生活では最新のスマートスピーカーを例に出して、原始時代との違いを明確に表現しています。原始時代と現代との共通点に「人を思う優しい^す気持ち」に注目したのは鋭い^{してん}視点だと評価できます。ただ、原始時代と現代の連続性について触れていないのが惜しまれます。)

H.H.君 僕が石器時代と比べて考えた事は、道具についてです。石器時代では、打製石器を使っている。現代では、包丁やナイフが生まれ、使いやすく、安全な物が使われていたり、石器時代では狩りをしたら移動する生活だけど、現代では家があって、定住をしていて、スーパーに行くと、お肉だけでなく、野菜やいろんな食べ物を買えたりする。ただ、生活で言うと、石器時代の方が良いと思いました。なぜなら、戦争も無く平和で生活が送れるし、国が無いから税金もとられるわけではなく、働らなくてもいい生活がいつまでもできるというのはうらやましいです。

ただ、その時代に病や病気にかかる薬がないから病や病気が治らないで、苦しい生活をずっとしないといけないのはつらいと思います。そう考えると、僕は、やっぱりこの時代に産まれて来て良かったなと改めて実感できました。

最後に僕はどちらの生活も出来るような気がします。

(※寸評:この作文の「戦争も無く平和で生活が送れる」という指摘はとても鋭いものです。他の人の作文には、この^{してん}視点はありませんでした。ただし、原始時代が「働かなくてもよい時代」だと読める文章表現は誤りです。原始時代こそ働きづめの毎日だったのです。自分が働かなかったら、食べ物も住む所もないのですから。人が生きるには、現代よりもはるかに^{きび}厳しい^{せいかつかんきょう}生活環境^{ぶんまつ}だったことを忘れている点は評価できません。文末の「どちらの生活も出来るような気がします」の意味が不明です。この「結論」は不要でした。)

Y.T.君 今の世の中は本当に便利だな、と石器時代の人々生活を学んで改めて痛感しました。ほしい物があれば店に行く、分からない事があればインターネットで調べる。行きたい場所があれば車を走らせる。現在ぼくたちが住んでいるこの世は本当に「良い」と言えるのだろうか。

その一方で石器時代の人々は道具も全て0から知恵をしばって作りだす必要があります。こうして作りだされたのが石器です。打製石器で獲物をとらせ食料としたり、その獲物の毛皮で衣服を作り寒さをしのぎます。磨製石器では、農耕を発達させ国をつくり、文明を生み出しました。現代人(倉橋先生)が現代の技術を使い石器をつくったのに4時間以上もかかったということは昔の人々はどれほどの時間と知恵をついやしたのか、このような事を学習すると、今の世の中は便利だと良いのかもかもしれませんが、石器時代の人々の考え方を尊重し、他人の力をかりずに自立することが大切だと思います。

(※寸評:この作文は、道具の違いに注目して、原始時代と現代の暮らしの特徴を説明しています。現代生活の便利さは良く表現できています。ただ、磨製石器と「文明を生み出し」という表現は誤りです。「古代文明」には「金属器」が登場します。つまり、金属器の登場が原始時代と古代の分岐点なんですね。あと少しでとても良い答案になった作文です。)

G.F.君 原始社会では人々が新しい道具を発明したり、自分達の手で動物を狩ったり植物を育て木の実を取り生きてきました。しかし現代を生きる私達はショッピングモールに生けば食べたいものが手に入るし、欲しいおもちゃが手に入ると思います。このことをふまえて僕は原始社会の人達に学びたいと思います。原始社会のほぼ自給自足という生活にいまもしなっていたとしたら僕は死んでいるかも知れません。昔の人達がぎせいになったからこそいまの素晴らしい現代社会があると思います。僕はぎせいになってしまった昔の偉い人達のためにも安心安全で金で物が手に入る今を生きるのでぎせいにならずに死んでいないんだと思います。

だからぎせいになってしまった人や色々なものを発明した原始社会の人達に感謝したいと思いました。そしてぎせいになってしまった人の分も生きたいと思いますし改めて打製石器や磨製石器を作った人はすごいなと思いました。

(※寸評:この作文は、原始時代と現代の暮らしの違いを、道具や食材の手に入れ方の違いで説明しています。現代生活についての説明はまずまず出ています。

また、この作文は、原始時代と現代の暮らしの連続性を説明することに挑戦しています。しかし、「昔の人達のぎせい」とか「ぎせいになった昔の偉い人」が何を意味するのか分かりません。表現方法をもう少し工夫するべきでした。

さらに、この作文は「自給自足」というキーワードを使って、原始時代の暮らしを説明しています。この点は評価されるべき視点です。ただ、自給自足という言葉を使う場合は、「交換経済」とか「物資の流通」あるいは「他地域との交流」という言葉を使って比較できる事象を説明すると鋭さが増します。両者を対比できるからです。)